

2022年11月2日(水)～6日(日) 屋久島宮之浦岳(1936m)登山&縄文杉探訪

クマさん会では2008年(平成20年)5月に屋久島に遠征しています。月に35日雨が降るといわれる島だけあって、宮之浦岳登山の日は終日雨に祟られました。特に、その時参加した吉松は下山後にギックリ腰になるという惨憺たるものでした。

いつか再チャレンジ出来ないものかと密かにその機会を狙っていました。今回は、屋久島の秋のハイシーズンである11月上旬に行き、宮之浦岳の紅葉も楽しもうという計画です。

初めての屋久島遠征から14年が経過して年齢相応に体力は落ちています。そのため、歩行時間は標準時間の2割増し、そして贅沢ですが4泊5日の登山行にしています。3日間の屋久島滞在中に晴れ間があることを期待して、その日に宮之浦岳に登ろうという魂胆です。参加者は高橋雄さん、中島さん、吉松の3人です。

レポートは、初日、2日目 吉松、3日目 中島さん、4、5日目は高橋さんが担当します。

初日【11月2日水曜日 晴れのち曇り】羽田空港から屋久島へ、そして登山口下見とヤクスギランド散策

屋久島への移動は、鹿児島空港で乗り継ぐJAL便を利用した。

羽田空港発7時55分、鹿児島空港着9時45分。鹿児島空港発10時25分、屋久島空港到着11時5分。



搭乗手続きを済ませて、空港内ロビーで機内へ搭乗案内を待った。コロナが少し落ち着いた所為か、乗客は多い。



関東周辺の天気は快晴で、窓外に海ほたる、富士山、芦ノ湖、南アルプスなどを見ることができた。





10分遅れの9時55分に鹿児島空港到着

羽田空港出発時は晴れていたが、鹿児島はやや曇りがちだった。

到着遅れの為急いで12番搭乗口に向かい、屋久島行きエアコミューターに乗り継ぐことになった。久しぶりにプロペラ機に乗ることになり、なんとなくワクワク！！



雲に隠れて桜島を見る事が出来なかったが、薩摩半島南端の開聞岳（薩摩富士）は見下ろすことが出来た。

定刻の11時5分に屋久島空港に到着。島は雲に覆われていた。南の島らしく関東と比べると大分暖かい。写真は、一寸寂しい屋久島空港と搭乗機のエアコミューター



トヨタレンタカーで、3人には少々大きめの車種「フィールダー」を借りた。

店員の話によると、ここ3年のコロナ禍で客足が落ち、貸出しできる車を半分以下に減らしたらしい。ここに来て再び島を訪れる客が増えてきたが、希望に添えないでいるとのことであった。

我々は随分早くから予定を組んでいたお陰で助かった。

ドラッグストアで買い物を済ませ、中島さんご指名の土産店「ぷかり堂」に立ち寄った。

「ぷかり堂」は空港からすぐの所にあった。中島さんはお目当ての「苔玉」を買い求めている。



12時を回り、空模様が怪しくなってきた。時々、雨も落ちてきだした。

月に35日雨が降るとはこのことかと、妙に納得してしまった。

宿泊先のある安房（あんぼう）地区まで移動して昼食をとろうとしたが、なぜか多くの店が閉まっていた。

偶々開いていた店に飛び込んだところが、ガイドブックにも載っていた「レストランかもがわ」

うたい文句に、“地元の人からも愛される定番のお食事の店”と書いてあった。



中島さん注文の海鮮丼 飛魚の刺身もあったとか



雄さん、吉松が食べた濃厚なちゃんぽん

我々が泊まる民宿は、「レストランかもがわ」から車ですぐの所にあった。



民宿「杉の里」

家族3人で経営している庶民的な民宿だ。ゆっくりとした話し方や我々への対応も実にのんびりした、気の置けない宿であった。



予約の部屋は2部屋だが、1人1人がそれぞれ8畳くらい使用できるほどの広さがある。
荷物を宿に放り込んで、明日以降の活動に向けて登山口などの下見に出かけた。

まずは、荒川登山バス案内所で情報収集



縄文杉を訪ねるには荒川口から入る。そこへの自家用車乗り入れは不可で、案内所からは登山バスに乗換える必要があることが分かった。5時始発のバスを利用するのなら、4時30分までにはここに来てほしいとのことだった。

「縄文杉へのバスチケット 1400円と協力金 1000円」を事前に購入。

(荒川登山バス案内所掲示板)



続いて、宮之浦岳登山の入り口である「淀川登山口」を下見



淀川登山口

駐車場スペースは5, 6台か?

宮之浦岳登山時には、早めに来ておかないと車が置けないことも確認できた。

登山入り口の下見や確認が済んで、本日の残り時間で最後にヤクスギランド「屋久島自然休養林」を訪ねて散策することにした。

標高1000~1300mに広がる自然休養林で、散策には5つのコースがあって体力に合わせて楽しむことが出来るそうだ。

場所は、淀川登山口から30分ほど下った道路沿いにある。



ヤクスギランド入り口前にある、売店&休憩施設

売店では屋久杉細工のぐい飲みを販売していたが、高いものは12000円也



ヤクスギランド入り口

森林環境整備推進協力金として一人当たり500円を払った。

我々は、「ふれあいの径・30分コース」を散策することにした。



くぐり梅、切株更新、千年杉、仏陀杉、双子杉、くぐり杉など色々ありましたが、タテヨコ様々なサイズの写真が入り混じっているの、残念ながら割愛

16時30分頃ヤクスギランドに別れを告げて、宿に向かった。

途中 A コープで食べ物、飲み物などを仕入れたのちに、17時過ぎに民宿に戻った。

今日の宿泊客は少ない。宿の小さな風呂を貸し切りのようにして、のんびりと汗を流した。



風呂から上がって、缶ビールで乾杯！

喉を潤しながら、これからの3日間の行動スケジュールを検討した。

天気予報によれば、11月5日(土)が最も天気はよさそうだ。

その日に宮之浦岳に登ることにして、明日は縄文杉を訪ねることに決定



今日は6時30分から夕食

宿自前の食前酒で再び乾杯！



屋久島自慢の飛魚のから揚げもあって、豪華な食事を楽しんだ。

このほか、刺身盛り合わせ、食後のデザートも並べられた。

有難いことにお酒の持ち込みもOK。「三岳」に加え、屋久島限定の焼酎「水の森」も楽しんだ。



こうして初日は暮れました。

明日は3時30分起床、4時には宿を出発しなければなりません。

お酒も入って、ほとんどバタンキュー状態で寝床に潜りました。